

事務事業名	公共下水道雨水施設整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	整備推進グループ	課長名	須田 弘
	施策名	(13)消防・防災対策の推進	担当者名	新田利治	電話番号	0854-42-3471
	目的:対象	市民	意図	生命・財産を火災・災害から守る。	(内線)	4610
	基本事業名	(039)危険箇所の対策実施	予算科目	会計 2 5 2 5 0 2 2 目 1 0 1 0 0 1	大事業名	公共下水道雨水施設整備事業
目的:対象	市民	意図	災害に遭わないようにする。	中事業名	公共下水道雨水施設整備事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 16 年度 ~ 30 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	新田川排水区(木次・三刀屋) 計画面積      A=97ha 計画放流量    V=13.1m³/s

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 開渠工 L=168m 詳細設計業務委託 1式	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 開渠工 L=150m			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	暗渠工	m	135	0	0	0
イ	開渠工	m	0	0	168	150
ウ	樋門工	箇所	0	0	0	0
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
	計画区域内(下熊谷地区)の住民及び家屋等。	ア	流域面積	ha	97	97	97	97
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)		
豪雨時に家屋等が浸水しないようにする。	ア	整備面積	ha	65.0	65.0	66.1	67.1	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
委託料      4,437千円	財源内訳	国庫支出金	千円	43,500	2,500	20,000	4,900
工事請負費    34,991千円		県支出金	千円				
その他      572千円		地方債	千円	45,500	2,500	20,000	5,100
計      40,000千円		その他	千円	4,325			
		一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円	93,325	5,000	40,000	10,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	800	540	400	
		人件費計(B)	千円	3,110	2,129	1,567	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	96,435	7,129	41,567		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
合併前の木次三刀屋公共下水道事務組合が採択を受けた。雲南市の中心市街として、住宅や大型店舗も進出している。宅地化が進み保水機能が損なわれると、強制排水ポンプの設置について検討しなければならない。	幹線の新田川の一部については、国道54号の4車線計画に併せ国土交通省が工事したため、事業費の縮減が図れた。	関係住民(受益者)から早期完了の要望が寄せられている。

事務事業名	公共下水道雨水施設整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	---------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	事業計画に基づき区域を設定しており、排水区域を網羅しているため成果の向上余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	近傍に類似事業がないため、統廃合・連携はできない。	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	適正な設計・積算を行っており、削減する余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最低限の人員及び業務時間で業務を行っているため人件費の削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	公共施設(雨水排水管渠)の整備であり、受益者負担金は無い。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		本年度は、木次地区枝線管渠の整備を行い、豪雨時における浸水被害が発生しないよう整備が進められた。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
平成24年度で業務委託し、木次枝線の整備を検討した。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		